

地域子ども・子育て活動支援助成事業 実施報告書

団体名	中野島学童ホール
取組の名称	放課後児童健全育成事業を基盤とした地域との連携事業
実施場所	中野島学童ホール
対象地域	川崎市多摩区中野島周辺
対象地域の特色・課題	<p>多摩川が非常に近く、また、梨を栽培する農家も多く、比較的自然が多い地域である。駅前の大型マンション、および市営住宅が比較的多いこと、最近では農地を宅地とする動きもあり、住民、若者、子どもが多い地域である。</p> <p>自然が多いが故に、それらの場所周辺では、昼間と夜間の明るさ、人通りに大きな差があること、周囲から死角になりやすい場所が多いことから、若者や子どもが犯罪に巻き込まれる可能性も高く、2019年5月28日に発生した登戸通り魔殺人事件の現場およびカリタス学園も近隣地域である。</p>
取組の趣旨・目的	<p>事業1：学童保育（中野島学童ホール） 小学生、およびその親に対し、放課後や長期休暇時の安全・安心な居場所を確保すること。</p> <p>事業2：地域連携（子ども食堂） 地域食堂開催による地域連携、および子どもの大人・異世代との交流による地域の輪づくり。</p>
実施内容・実施スケジュール	<p>事業1：放課後児童支援員の指導の下、放課後学習（学校の宿題、自主学習）、外遊び・室内遊びなどの集団生活から人間関係の構築力や自主性を養う支援を実施。また、医療的ケア児、ADHD、特別支援学級児に対し、大学で専門知識を習得した有償ボランティアに保育委託を行い、十分なケアができる体制の強化を実施。</p> <p>事業2：学童保育の資源を基盤とし、地域の子ども、若者、その親、地域の大人に向けた情報発信を行い、地域の方々が気軽に立ち寄れる場所をつくり、来場者に食事の提供を行い、様々な情報交換と地域の輪づくりを実施。</p>

参加者の年代	事業1：児童 事業2：幼児～大人	定員 (1回あたり)	事業1：約25人 事業2：約25人
実施頻度	事業1：週5日以上 事業2：月1回	活動日数 (年間)	事業1：248日 事業2：7日
スタッフ体制	<p>事業1：常勤支援員2名/日、非常勤支援員＋有償ボランティア1～2名/日（長期休み時は増員対応あり）</p> <p>事業2：基本的に子どもを預ける親5～6名/回で対応（参加した子ども達も自ら手伝いを実施）</p>		
連携する団体・連携の手法	<p>事業1：他の学童保育機関、有償ボランティア派遣機関と定期的な会合を持ち、継続すべき点、改善すべき点の情報交換を実施。</p> <p>事業2：NPO法人ままとんきっずが主催するなかのしまネットワークに参画し、活動内容の認知、および利用者を子ども食堂に招待し、親の就労支援、子どもの見守りについて意見交換を実施。</p>		
取組実施により見込まれた効果	<p>事業1：新型コロナウイルス感染拡大の影響で、一定期間の閉室を余儀なくされたが、その時、その場で最善の対応策を講じることで親の就労支援と児童に安全・安心な居場所を確保することができた（同学童ホール関係者の感染者ゼロ）。</p> <p>事業2：子ども、若者が世代を超えた地域の方との触れ合い、顔見知りになることで、地域ぐるみで児童、その親を支え合う基盤の構築が可能となる（街中での挨拶や声掛け実施）。異なる団体の方と情報交換することで、立場の異なる様々な助言を得られた。</p>		